

様式第4号(第5条関係)

政務活動費収支報告書

令和7年 2月28日

(あて先)山鹿市議会議長

議員名 限 部 賢 治

山鹿市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則第5条の規定により、次のとおり報告します。

1 収入(政務活動費)額 220,000 円

2 支出 (単位:円)

項 目	金 額	備 考
調 査 研 究 費	0	
研 修 費	77,207	全国地方サミット2024研修
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要請・陳情活動費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	7,279	消耗品 (1/2)
資 料 購 入 費	44,000	新聞
人 件 費	0	
事 務 所 費	10,000	タブレット通信費
合 計	138,486	

(注) 備考欄には、主たる支出の内訳を記載すること。

3 残額 金 81,514 円

(支出額が収入額を超えるときは、0円と記入)

山鹿市議会議員 研修報告書

報告者	議席番号 5 番 隈部 賢治
日 時	令和 6 年 7 月 10 日 ～ 11 日 (2 日間)
研修先	全国地方議会サミット2024 東京 早稲田大学 井深記念大ホール
研修目的	特に近年は地方議員のなり手不足や地域コミュニティの維持の問題、自然災害やウイルス被害による経済の衰退、AI 技術の更なる進展や価値観の一層の多様化による社会常識の変化等々、地域を取り巻く環境は急速に変化しており、地域経営に向けた課題が健在化している。 あらためて地方自治が新たなステージに入ったことを認識し、二次元代表の一翼を担う議会として、理論だけではなく具体的な行動が重要であることを認識し行動に移す必要がある。 あらゆる災害に対して実行性の高い「議会 BCP」の確立と訓練を実施、災害時に活用できるデジタル技術を議会に積極的に取り入れて行く事が必要な時代に突入している。 災害の備えは議会が主導し住民自治や災害対応への政策を研究し提言する。 合議体として議論を尽くし最善の意思決定を行う仕組みを議会内に構築する。 持続可能な地域を創出するため地域課題の本質を研究し課題解決の政策立案に取り組む。 地方議会間の交流や意見交換を活発に行い、議員が互いに研鑽を重ね、善政競争を促して地方議会から地域を変え地域から日本を変える志を持って活動する。
研修経過	【1 日目】 13:00 開会 13:08 「生活を支える強い地域を議会がつくる」 早稲田大学名誉教授/元三重県知事 北川正恭 13:30 「能登半島地震被災地の議会からの報告」 輪島市議会議員・元議長 椿原 正洋 氏 珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏 能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏 14:40 「熊本地震の経験と自治体間支援の現場から」 熊本市長 大西 一史 氏 15:50 「能登半島地震と珠洲市の状況と対応」 珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏 対談 大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏 16:00 「防災 DX の最前線と今後の展開」 国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長 防災 DX 官民共創協議会 理事長 白田 裕一郎 氏 「災害におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性」 佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー 宇宙公務員 円城寺 雄介 氏 17:00 「東日本大震災の経験から」 元総務大臣 片山 善博 氏 17:30 終了

研修経過	【2日目】 10:00 「非常事態への備えと議会の対応・役割」 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏 10:30 パネルディスカッション 「東日本大震災の経験をふまえた災害対応」 久慈市議会 議長 濱欠 明宏 氏 「大規模復興と議会の在り方」 陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏 「住民避難・離散と自治体・議会活動」 双葉町長 伊澤 史朗 氏 コーディネーター 法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏 11:30 「デジタル・生成 AI を活かす」 デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏 13:00 「議会改革の最新トレンドとトピックス」 「議会改革の軌跡と展望マニフェスト選挙から 20 年、その先に」 大正大学 教授 江藤 俊昭 氏 13:20 パネルディスカッション「議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携」 可児市監査委員事務局長 平田 祐二 氏 あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏 コメンテーター 大正大学 教授 江藤 俊昭 氏 14:15 「委員会代表質問を活かす」 法政大学 教授 土山 希実枝 氏 甲賀市議会 副議長 田中 將之 氏 別海町議会 議長 西原 浩 氏 15:15 「早稲田大学マニフェスト研究所 議会改革度調査から」 早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健 氏 16:00 終了
研修所見	今回の研修では、能登半島地震、熊本地震の状況や議会としての対応の報告から、災害に対して非常事態への備えと議会の対応・役割など、報告でした。 能登半島地震の災害状況では死者 130 名、負傷者 513 名、建物損壊 27,889 件、孤立集落 24 か所、3,300 名以上、震災関連 861 億円超えの予算、発災直後の被害と現状報告では最大震度 7 の恐怖と不安で揺れではなく、僅か 180 秒で生命や長年築いてきた財産を失い人生設計までも狂わせてしまう本当に怖い災害です、交通手段でも陸路は新幹線道路の崩壊、海岸は海岸隆起、空路はヘリのみで陸の孤島状態、通信不可、支援物資が届かない状態でした。 能登町議会議員 金七祐太郎氏自身の災害状況では、自宅は準半壊（妻の実家は全壊、親戚宅は大規模半壊）で他の議員の状況として行方不明の議員もあり議員それぞれも孤立し身動きができない状況でした。能登半島地震を経験したことで議会活動の課題や改善点では政府が支援本部ではなく、対策本部を立ち上げて対応すべき事案でした、発生直後に早く支援策が必要、命を守ることから生活することへ変化し支援が停滞しないように順次体制を整える事が必要今後、被災地へどのような支援が必要か、自宅再建と生業支援が復興の入口であると思う。今後も地震はいつか来るではなく必ず来るとの覚悟を持って準備しておくべきである事だと山鹿市議会でも災害対応をもう一度、再確認する必要があると実感させられた報告でした。

全国地方議会 サミット2024

07.10^水&11^木 早稲田大学&オンライン

非常事態への備え これからの議会

能登半島地震で被害に遭われた皆様へ心よりお見舞い申し上げます。被災地域の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

2024年元日に発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらし、今なお復興のさなかにあります。

災害対応や支援のあり方、最新技術やデジタル、各地の経験をどう活かしていけるのか――。

地域や住民の生活を守るために、私たちが学ぶべき現場の実践・経験知について、現場で対応にあたる当事者や経験者とともに議論します。

非常事態や様々な課題への対応、強い地域をつくる「これからの議会」を提起・発信します。

7/10^水 Day1
13:00-17:30

基調講演 生活を支える強い地域を議会がつくる

早稲田大学マニフェスト研究所 顧問 北川 正恭 氏

能登半島地震被災地の議会からの報告

輪島市議会議員・元議長 榎原 正洋 氏

珠洲市議会 議長 番匠 雅典 氏

能登町議会 議長 金七 祐太郎 氏

熊本地震の経験と自治体間支援の現場から

熊本市長 大西 一史 氏

能登半島地震と珠洲市の状況と対応

珠洲市長 泉谷 満寿裕 氏

大西 一史 氏 × 泉谷 満寿裕 氏

防災DXの最前線と今後の展開

国立研究開発法人防災科学技術研究所 総合防災情報センター長

防災 DX 官民共創協議会 理事長

白田 裕一郎 氏

災害時におけるドローン・人工衛星など最新テクノロジー活用の可能性

佐賀県庁・JAXA・総務省地域情報化アドバイザー

宇宙公務員 円城寺 雄介 氏

東日本大震災の経験から

元総務大臣 片山 善博 氏

○ 終了後意見交換会

(先着150名様、参加費4,000円、要申込)

7/11^木 Day2
10:00-16:00
通中昼食休憩あり

非常事態への備えと議会の対応・役割

法政大学 総長 廣瀬 克哉 氏

【パネルディスカッション】

東日本大震災の経験をふまえた災害対応

久慈市議会議員 濱欠 明宏 氏

大規模復興と議会のあり方

陸前高田市議会議員・元議長 福田 利喜 氏

住民避難・離散と自治体・議会の活動

双葉町長 伊澤 史朗 氏

デジタル・生成AIを活かす

デジタルハリウッド大学 教授 橋本 大也 氏

議会改革の最新トレンドとトピックス

議会改革の軌跡と展望

―マニフェスト選挙から20年、その先に！―

大正大学 教授 江藤 俊昭 氏

【パネルディスカッション】

議選監査委員の活性化と議会・監査委員事務局の連携

あきる野市議会議員・議選監査委員・元議長 子龍 敏人 氏

可児市議会議員・議選監査委員・元議長 川上 文浩 氏

可児市監査委員事務局 平田 祐二 氏

委員会代表質問を活かす

法政大学 教授 土山 希美枝 氏

甲賀市議会、別海町議会

早稲田大学マニフェスト研究所「議会改革度調査」から

早稲田大学マニフェスト研究所 事務局長 中村 健氏

全国地方議会サミット2024

検索



※ プログラムは現時点の予定であり、変更になる可能性があります。 <https://maniken.jp/summit/>

日時 | Day1 | 2024年7月10日(水)13:00-17:30
| Day2 | 7月11日(木)10:00-16:00

会場 | 早稲田大学井深大記念ホール
※会場の都合により大隈記念講堂から変更になりました
オンライン配信あり(Zoomミーティング)

対象 | 議員、議会事務局・自治体職員、市民等

定員 | 会場 | 先着400名様 | オンライン | 定員無し

参加費 | 議員 | 11,000円
| 一般 | 5,500円 ※いずれも税込、日間を過ぎた後の金額です

申込方法 | ウェブもしくは裏面のFAX申込書より 期日:2024年6月30日(日)

主催 | ローカル・マニフェスト推進連盟 共催 マニフェスト大賞実行委員会

協力 | 早稲田大学マニフェスト研究所

後援 | 全国市議会議員会 全国町村議会議員会

問合せ | 電話 03-6709-6739 メール mani@maniken.jp

ローカル・マニフェスト推進連盟事務局 担当 佐井・山内

主催

ローカル・マニフェスト推進連盟

共催

Manifesto Awards

協力

早稲田大学
マニフェスト研究所

後援

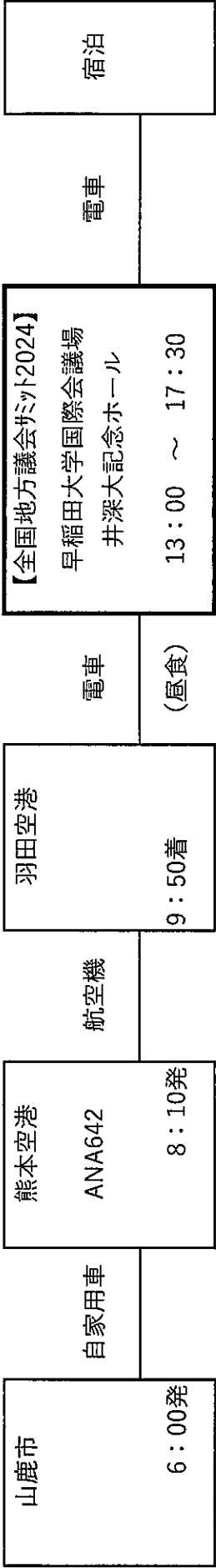
全国市議会議員会
National Association of Chairpersons of City Councils

後援

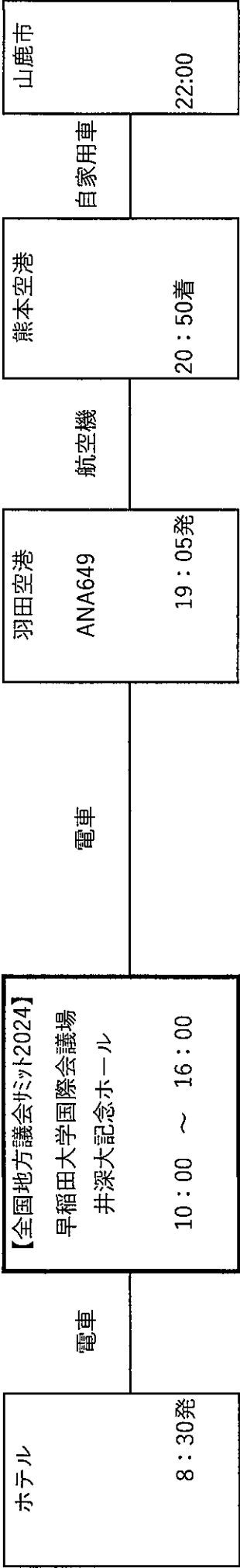
全国町村議会議員会
National Association of Chairpersons of Town and Village Assemblies

全国地方議会サミット2024 行程表 (令和6年7月10日 (水)～令和6年7月11日 (木))

【7月10日 (水)】



【7月11日 (木)】



領収証

No. _____

隈部 賢治 様

2024 年 5 月 24 日

金額						
						¥64400-

内
8%(税込・税抜)金額 消費税額等

10%(税込・税抜)金額 消費税額等

但 ☒ 7/10~11 熊本↔東京ハック代
☐ 飲食料品等(軽減税率対象)

上記正に領収いたしました

現金・カード・()



HISAGO #780

〒861-0312 熊本県山鹿市鹿本町梶屋17-1

株式会社トラベルロード

電話 0968-36-9331

登録番号 T9330001005535



領収データ - 全国地方議会サミット2024

発行日	2024年4月4日
宛名	クマベ ケンジ
合計	¥11,220
但し	チケット代金
注文日	2024年4月4日
注文番号	25077147
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	全国地方議会サミット2024

¥583

羽田空港第1・第2ターミナル
→ 日本橋駅
交通機関
2024/07/10 10:49

¥97

日本橋駅 → 早稲田駅
交通機関
2024/07/10 11:04

¥210

東京都文京区
バス
2024/07/11 14:50

¥178

上野駅 → 浜松町駅
交通機関
2024/07/11 16:41

¥519

浜松町駅 → 羽田空港第2ターミナル
交通機関
2024/07/11 17:10

My Suica での支払い

合計

¥583



東京都中央区

My Suica での支払い

合計

¥97



東京都新宿区

My Suica での支払い

合計

¥210



東京都文京区

My Suica での支払い

合計

¥178



東京都港区

My Suica での支払い

合計

¥519



東京都大田区

新製品が安い KS ケーズデンキ

お買上げ明細

2025年 2月16日(日)

16時11分

(3132000312825)

会員番号 0530008243980

<明細>

1 ●インクカートリッジ
ブラザー工業
4977766724685 LC111-4PK 1点 10% ¥3,460
クーポン値引500円
10%値引対象

2 ●インクカートリッジ
キヤノン
4549292088571 BC-345XL 1点 10% ¥2,655
クーポン値引100円
10%値引対象

3 ●インクカートリッジ
キヤノン
4549292088595 BC-346XL 2点 10% ¥4,860
クーポン値引100円
10%値引対象

4 ●インクカートリッジ
キヤノン
4549292088571 BC-345XL 1点 10% ¥2,655
クーポン値引100円
10%値引対象

5 ●インクカートリッジ
ブラザー工業
4977766724609 LC111C 1点 10% ¥929
クーポン値引100円
10%値引対象

6点/合計 ¥14,559
税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥14,559
(内消費税額 ¥1,323)

[0533132-053009300-2310005000256]

領収証

2025年 2月16日(日)

16時11分

金額 ¥14,559

(内消費税等 ¥1,323)
税率別内訳 / 課税対象額 10% ¥14,559
(内消費税額 ¥1,323)

但し、お品代として
上記金額正に領収致しました。

<決済内訳>

現金 ¥14,559
(内消費税等 ¥1,323)

現金お預かり ¥15,100
お釣り ¥541

登録番号:T3050001005560
株式会社九州ケーズデンキ

ケーズデンキ山鹿店
電話番号 0968-44-8588
販売担当者009300

14,559円 x 1/2 = 7,279.5

領 収 証

No. _____

限部 賢治 様

7 年 2 月 28 日

★ ￥44,000

但 新聞代として(R6.4月~R7.2月分)
上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額	40,741
消費税額等(8%)	3,259

有限熊日新聞山鹿南販売センター
会社 熊本県山鹿市山鹿439番地
電話 0968-43-3301
登録番号: T2330002018451

山鹿市 納付通知書兼領収証書

年度 令和 6年度	会計 1 現年度	繰越 21	款 6	項 1	目 1	節 1	細節	主管課 議会事務局
--------------	-------------	----------	--------	--------	--------	--------	----	--------------

住所 〒861-0564
熊本県山鹿市鹿央町広
5 9 2 番地

氏名 隈部 賢治 様



通知書番号 270286	調定番号 100001968	納付額 10,000 円
発行日 令和 7年 1月24日	摘要 タブレット端末通信費 (令和6年度 4月～1月分)	

納入期限日

上記の金額を領収しました。

上記の金額を納付してください。

令和 7年 1月24日

山鹿市長

早田 順一



納付場所

- ・山鹿市役所 (本庁・市民センター)
- ・肥後銀行
- ・熊本第一信用金庫
- ・鹿本農業協同組合
- ・熊本銀行
- ・九州労働金庫

領収且付印



熊本県山鹿市

※この納付通知書兼領収証書は5年間大切に保管してください。(納付者保管)